



地球にいいこと、始めませんか。 エコな3つの取り組みポイント

暮らしの中でできるエコな取り組みについて、紹介します。

省エネな運転、エコな移動

市内では、車は欠かせない移動手段です。使う頻度が多いからこそ、運転の仕方を工夫するだけで、大きな効果が生まれます。
エコな運転ポイントを紹介します。

- 運転の工夫(エコドライブ)**
 - ふんわりアクセル（発進から、5秒で時速20キロメートルが目安）
 - ゆとりのある車間距離で、加速や減速を減らす。
 - 不要なアイドリングを減らす。
- エコカーの購入**

燃費効率の良いハイブリッド車や電気自動車に切り替える。

省エネな暮らし方

電気の使い方、水の使い方など、暮らしの中で使い方を見直すことで、二酸化炭素を減らすことができます。

- 冷蔵庫**
 - 冷蔵庫を開ける時間を短くする。
 - 物を詰め込みすぎない。
 - 設定温度は、標準程度に見直す。
- 浴室や洗面所**
 - 蛇口やシャワーは出しっぱなしにせず、こまめに止める。
 - お風呂のお湯は、温度を下げたて入れる。
 - 洗濯は、まとめ洗いをし、回数を減らす。
 - 晴れた日は、乾燥機より天日干しにする。
- リビング**
 - 使用していない部屋の電灯を消す。
 - 使用していない家電はコンセントを抜く。
 - エアコンは、フィルターをこまめに清掃し、室温は、夏は28℃、冬は20℃を目安にする。
※熱中症の予防のため、エアコンの使用をためらわないようしてください。
 - 夏はカーテンなどで日差しをさえぎり、冬は暖かさを逃がさないようにする。
- その他**
 - 植物は、二酸化炭素を吸収することから、庭や畑、地域の花壇など、身近な緑や里山を大切にします。
 - 栗原産の米や野菜、果物を選んで購入する。遠方からの物流が減ることで、省エネや地産地消につながります。

ごみを減らす、分ける

ごみは、燃やすときに二酸化炭素が発生します。ごみ自体を減らすこと、リサイクルできる物は、分別して資源化することが大切です。

- 買い物**
 - 冷蔵庫の中身を確認し、献立を考えてから買い物に行く。
 - マイバッグ、マイバスケットを持つ。
 - 詰め替え商品や、長く使える物を選ぶ。
 - 食品の手前取り。消費期限の近いものから取る。
- 正しくリサイクルする**
 - エアコンやテレビ、冷蔵庫や洗濯機などは、決められた方法で処分する。
 - 新聞や雑誌、段ボールなど紙類は資源回収に出す。



問 市民生活部環境課 ☎(22)3350

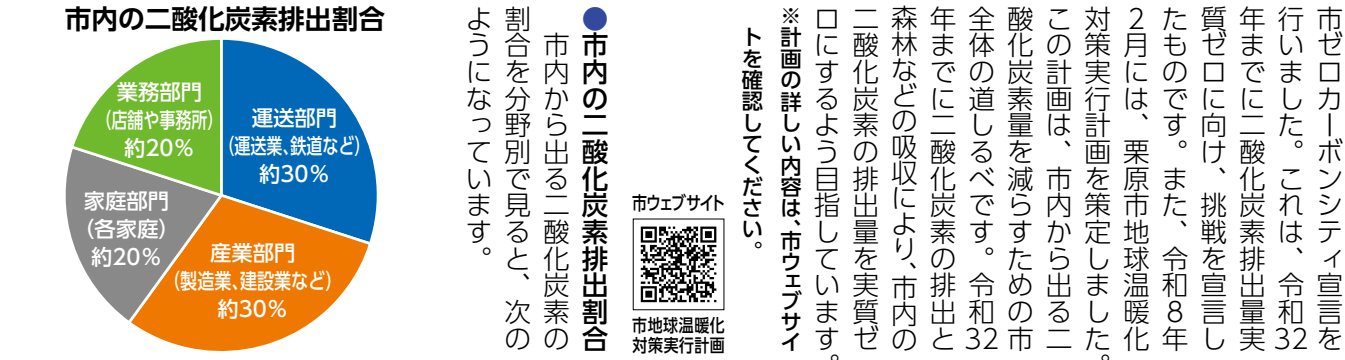
世界では、干ばつや洪水など異常気象が多くなっています。これは、地球温暖化の影響と言われ、世界的な気候変動が心配されています。

今月は、地球温暖化対策のため、市が新たに策定した計画や、暮らしの中でできる省エネのポイントを紹介します。

温暖化する地球

石油や石炭、ガソリンなどを燃やすと二酸化炭素が排出されます。二酸化炭素は、地球から宇宙へ逃げていくはずの熱を、空气中にためこむ性質があります。産業の発達で世界中が大量のエネルギーを使うようになり、二酸化炭素が増えた結果、地球に熱がこもり、気温の上昇が起きています。

日本の平均気温は、この100年で約1.4度上がりました。これは、世界の平均よりも速いペースで上昇しています。日中の最高気温が35度以上になる猛暑日や、短時間に大量の雨が降るゲリラ豪雨が増え、台風も大型化しています。また、熱中症で病院に運ばれる人も、年々増えています。



栗原では移動に車が欠かせないため、通勤や買い物など、車から二酸化炭素が出る機会が多いのが特徴です。また、仕事に関わる二酸化炭素や家庭からの割合も見逃せません。

2つの目標

セロカーボンを算出するための基準になる平成25年は、市全体で二酸化炭素が58万4千トン排出されていました。市の計画では、この二酸化炭素を減らすため、2つの目標を立てています。

- 令和12年度までに、二酸化炭素の排出量を基準年の半分、29万2千トンまで削減する。
- 令和32年度までに、実質セロ（セロカーボン）を達成する。

例えば、今のまま、何もしないで令和12年を迎えた場合、二酸化炭素排出量の推計値は、43万6千トンになり、目標を達成できません。

また、削減に取り組む場合、国と県の削減目標に加え、市では、さらに3万9千トンの削減が必要になります。これは、市の全家庭の二酸化炭素排出量の約半年分に相当します。

私たちは、電気やガソリンを使わないで生活することはできません。いかに効率よく、省エネをするかが、大切になります。

日々の小さな積み重ねが大きな力に

豊かな美しい栗原を次世代へ

地球温暖化による気候の変化を感じることが多くなっています。市民の皆さんが暮らしの中で感じている夏の暑さや大雨、降雪量の変化など、まさに地球温暖化がもたらしているものです。

過ぎしやうい地球を取り戻すために、一人一人の取り組みは小さくても、市民の皆さんの取り組みが積み重なれば、大きな力になります。

私たちの暮らしの中の小さな積み重ねが、豊かな美しい栗原を次世代へつなぐことになりま。

今日から、エコな3つのポイントを意識して、地球にいいことを始めませんか。